

武田 雅司 議員



一問一答方式

- ① 地方公営企業の今後
- ② 肱川の洪水防止
- ③ 部活休養日の独自ルール

地方公営企業の今後について

問 公共施設の中で、私たちの暮ら
しにとって大事な役割を担って
いる病院や下水道など、地方公営企
業の施設について、今後における維
持管理の対応方針についての考えを
伺いたい。

答 病院事業については、建物本体は
耐震改修の必要はありませんが、
単年度に補修工事が集中することの

ないよう、計画的な施設の維持管理
に努めていきたいと考えています。

公共下水道事業については、これ
まで実施してきた施設ごとの長寿命
化対策を踏まえ、ストックマネジメ
ント計画を平成30年度に策定し、維
持管理コストの縮減に努めていき
たいと考えています。

次に、上水道は重要度の高いライ
フラインであり、老朽化した施設の
改修工事や施設の耐震化など、地震
災害への備えが急務となっているこ
とから、水道事業基本計画に沿って
中・長期的に維持管理を行い、安全・
安心な水の供給に努めていきたいと
考えています。

肱川の洪水防止について

問 肱川の河川整備においては、ダ
ム整備と河川改修を治水対策の
両輪として実施されているが、流下
能力を上げるための河川整備がより
大事ではないのか。平成27年9月の
関東・東北豪雨における鬼怒川の洪
水被害においても、流下能力や堤防
の構造などの問題点が指摘されてい

ることから堤防整備や河道整備を急
ぐべきと考えるが、見解を伺いたい。

答 肱川水系河川整備計画では、毎
秒5,000m³の流量のうち、
上流の3つのダムで毎秒1,100
m³を調節することにより、全川にわ
たり水位を低下させ、残りの毎秒3,
900m³を河道への配分流量として
おり、計画流量を安全に流下させる
ためにはダムと堤防を一体となつて
整備することが重要であると考えて
います。

今後も、本市としては一日も早く



堤防整備を進捗させ、ダムとあわせ
た治水効果が発揮できるよう、国、
県と連携して事業を推進していき
たいと考えています。

部活休養日の独自ルールについて

問 部活休養日の独自ルールが教員
の仕事と生活の両立、ワーク・
ライフ・バランスにどのように寄与
できると考えているのか。

答 本市教育委員会では、この独自
ルールによって積極的な休養を
とることで生徒の心身の健康やバラ
ンスを保ち、効率的かつ効果的な運
動部活動を推進するとともに、教員
が授業の指導に集中できる環境づく
りやワーク・ライフ・バランスを実
現していきたいと考えています。

教員や保護者の感想も、教職員の
研修の時間が計画的に行えるよう
になったことや帰宅時間を見直すこ
とができるようになったなど、好評の
ようであり、他の市町の教育関係者
からも本市の取り組みを評価いた
だいているようです。また、生徒の感
想も同様です。